

静岡県歯科技工学術大会

[生涯研修自由課程]

平成24年 7月1日(日) グランシップ

910会議室

演題 「知っておきたい顎口腔機能」

(社)静岡県歯科技工士会

副会長 森野 隆

抄録

1992年12月(平成4年)の歯科技工士養成所指定規則の改正に伴い、歯科技工士教育の教授要綱に、新たに加わった「顎口腔機能学」という学科目があります。

静岡県でも、1995年より技工士学校で授業が始まり、1997年(平成9年)に歯科技工士国家試験に新たな科目として加わりました。高校卒業後、現役で入学した方で今年35, 36歳の方々から始まった事になります。厚生労働省の平成22年度保健衛生行政業務報告によれば、就業歯科技工士の約25%がそれに当たり、75%の方々は学んでいない事になります。1955年(昭和30年)の歯科技工法制定以来、時代の要請に合わせて種々の見直しが行われ、高度な技術水準を有する資質の高い歯科技工士が求められる昨今で、「学んでいないから、知らない。わからない。」で済ませていいのでしょうか。

しかしながら、顎口腔系の機能と解剖は複雑で、理解することはなかなか難しいのも事実だと思います。

そこで、今回、口腔内に入れる技工物を製作する者として、知っておかなければならない顎口腔系の筋、顎関節の構造、機能等を、日本歯科大学新潟生命歯学部歯科補綴学第1講座教授の小出馨先生の資料等もお借りし、私なりにまとめたものを発表させて頂きたいと思います。